

# ふあいやホーム淑しゆ

ミユキ (所長) …… 浅季愉女美  
ゴトウ (スタッフ) …… 大間剛志  
クボ (スタッフ) …… 久行志乃ぶ  
セオ (スタッフ) …… 佐野恵海  
ハラ (新人スタッフ) …… くおん未杏  
カキコ (利用者) …… 辻川幸代  
ホンマ (利用者) …… 津田タカシゲ  
ヤマシロ (利用者) …… ロン佐藤  
トミオカ (ケアマネージャー) …… 平吹敦史  
ヒロシ (見学者) …… 関藤隆治  
マリコ (見学者) …… 川崎桜  
オサム …… 村田与志行

あるグループホーム（「GHしとや家」と書かれた看板がある）の、共有スペース。

ポール・マツカートニー『007死ぬのは奴らだ』が流れる。  
オモチャのボール（フライング・スピナー）を手にした、トミオカ、ゴトウが現れる。

二人、キャッチボール等をする。

フラフープを手にした、カキコ、ホンマ、ヤマシロが現れる。

三人、「フラフープぐり競争」の練習をする。（練習をしながら、去る）

ミュキが来る。

トミオカ（ミュキに気付き）あ、（会釈）  
ミュキ どうも。

トミオカ お世話になります。

ミュキ え、（そのボール）なに？

トミオカ 令和のオモチャ。

ミュキ え？

ゴトウ（通称）ミニドローン。

トミオカ レクレーションにどうですか？（ゴトウにパス）

ゴトウ（受け取り）こうやったら、こんな感じ（技を披露）。

トミオカ うまいね。

ミュキ それより、いらっしやった、見学の方。

トミオカ ああ。

ミュキ いま部屋とか見てもらってる。

ゴトウ あ、トミーが担当してる？

トミオカ そう。

ミュキ ごっちゃん、話うかがってくれる？

ゴトウ え、俺が？

ミュキ そう。私ほら、アレの対応で、あそこ行かなきゃ。

ゴトウ え、今からですか？

ミュキ うん。

ゴトウ 大変だ。

ミュキ なんかもう、ああいうのも、どうなんだろうね。

ゴトウ ですね。

ミュキ（トミオカに）じゃあまた。（ゴトウに）お願いね。

ゴトウ はい。

トミオカ ミュキ、去る。

トミオカ え、（アレの対応って）なに？

ゴトウ うん、まあ所長になると、いろいろ大変なことかな。

トミオカ ああ。

ゴトウ

俺は絶対、管理者にはなんねえぞ。

カキコが来る。

カキコ

ごっちゃんさん、

ゴトウ

はい。

カキコ

(マスクをつけつつ)今日は楽しかった。ありがとうございました。(去ろうと)

ゴトウ

カキさん、

カキコ

(止まる)

ゴトウ

お帰りですか？

カキコ

いい運動になりました。

ゴトウ

いや、ゆっくりしてってください。

カキコ

え、

ゴトウ

もうすぐ、おやつ時間ですよ。

カキコ

いえいえ、わるいですよ、そんな。

ゴトウ

いえいえいえ。

カキコ

今日、お金持ってないから。

ゴトウ

いや、お金はもう、頂いてますから。

カキコ

そうだったっけ？

ゴトウ

はい。ご心配なく。

カキコ

え…(払ったかな？)

ゴトウ

「チョコまみれ」

カキコ

(！)

ゴトウ

ありますよ。買ったとききました。

トミオカ

カントリーマアム？

ゴトウ

そう。

トミオカ

(カキコに)(チョコ)お好きなんですか？

カキコ

(微笑)

トミオカ

(ゴトウに)「チョコだらけ」ってのもあるよね。

ゴトウ

あるね、ホームパイ。

トミオカ

うん。

カキコ

チョコだらけ？

トミオカ

はい。

ゴトウ

(カキコに)今度、買ったときですよ。

カキコ

ごっちゃんちゃん♡

ゴトウ

ゆっくりして行きましょう。

カキコ

…じゃあ、もう少し。

ゴトウ

はい。

マリコとヒロシが来る。

カキコ

(二人を見て)こんにちはっ。

マリ・ヒロ

…あ、(会釈)

カキコ、去る。

マリコ (トミオカに) すいません、遅れまして。  
トミオカ いえいえ。

マリコ 渋滞してて。(ヒロシに) ね。

ヒロシ (うなづく)

マリコ (トミオカに、ヒロシを紹介) 弟です。

トミオカ ああ、息子さん、

マリコ (ヒロシに、トミオカを紹介) お母さん担当していただいてる、ケアマネージャーさん。

ヒロシ お世話になってます。

トミオカ はじめまして。トミオカです(名刺を渡す)。

ヒロシ 恐縮です(受け取る)。

マリコ (トミオカに) なんか、また今日、デイスアービス行きたくないって言いだしたみたいで、

トミオカ そうなんですか？

ヒロシ はい。お迎えの方がうまく連れ出してくれたんですけど、

マリコ デイの方に、いつも申し訳なくて。

トミオカ まあ、大丈夫ですよ。

ゴトウ それも仕事ですから。

トミオカ (ゴトウを紹介) このスタッフの、ゴトウさん。

マリ・ヒロ よろしくお願います。

ゴトウ お願いします。ご見学に？

マリコ はい。グループホーム、勧められて。

ゴトウ なるほど。じゃあちよつと、うちの資料持ってきますんで、(イスを指し) どうぞ。

マリ・ヒロ はい。(座る)

ゴトウ、去る。

トミオカ お部屋とか、ご覧になりました？

マリ・ヒロ はい。

トミオカ いかがですか？

マリコ ……なんていうか、小ぢんまりですね。

トミオカ ええ。アットホームに、集団生活ってことなんで。

ヒロシ 寮みたいですね。

トミオカ ああ、(確かに)

マリコ うん、個室並んでて、

ヒロシ 風呂トイレ共同で、

トミオカ まかない付きですからね。

マリコ (マリコに) でもお母さん、どう思うかな、

うん…

トミオカ 息子さんから見て、お母様(の様子)いかがですか？

ヒロシ ……昨日、ちよつと久しぶりに会ったんですけど、

トミオカ はい。

ヒロシ  
マリコ  
きてるわよ。

ヒロシ  
トミオカ  
はい。  
(トミオカに)牛乳石鹼ってありますよね、青箱の。

ヒロシ  
マリコ  
なぜか、冷蔵庫の中にいっぱい入ってた、えっ、

ヒロシ  
マリコ  
びっくりした：  
乳製品と間違えてる？

トミオカ  
マリコ  
バターとか？  
ミルクプリン？

ヒロシ  
マリコ  
あと財布、泥棒に盗られたとか言っ  
て、また財布無くしたの？

ヒロシ  
マリコ  
うん：  
(ため息)

ヒロシ  
マリコ  
自分でどっかに隠してんだよね？  
そう。

トミオカ  
マリコ  
盗られ妄想ですね。  
で、どうしたの？

ヒロシ  
マリコ  
え、とりあえず、スルーした。  
探さないよ。

ヒロシ  
マリコ  
え…(メンドクさい)  
(まず)ベッドの下、マクラの中、タンスの奥、額縁の裏、

トミオカ  
ヒロシ  
できれば、一緒に探してあげましょう。  
:(トミオカに)なんで、ああ(妄想)なるんですかね？

トミオカ  
マリコ  
要するに、大切な物を、自分だけが分かる場所にしよう、で、そのしまった行為を  
忘れてしまう、

マリコ  
ヒロシ  
で、「財布がない。なんで？」  
「誰かに盗られた？」って？

トミオカ  
マリコ  
そうなんです。理想を言えば、一緒に探して、見つけてあげて、「偉い」って、褒め  
る。

マリコ  
トミオカ  
褒める？  
「こんなとこに隠したの？ よく考えた。偉いっ」

マリコ  
トミオカ  
えー(そんなの無理…)  
資料を手に、ゴトウが来る。

ゴトウ  
マリコ  
お待たせしました。こちらどうぞ(資料をマリコたちの前に置く)、  
ヒモ付きの棒(ヒモの先に輪ゴム)を持った、ホンマが来る。

ゴトウ  
マリコ  
ご参考に。  
ああ、

ヒロシ  
ゴトウ  
はい。  
お母様、

ホンマ  
ゴトウ  
（棒でゴトウをつつく）つん、

（あん）

ホンマ  
ゴトウ  
アレ、どこかな？

？（棒を見て）ああ、（部屋の奥を指す）

ホンマ、奥に行き、ペットボトルを手に取る。

ゴトウ  
ヒロシ  
（マリコたちに）お母様、介護認定って（受けてますよね？）、  
はい。

マリコ  
要介護1なんですけど、

トミオカ  
ゴトウ  
いま区分変更、申請してて、  
なるほど。

ホンマ、ペットボトルを床に置き、棒を使って、「ペットボトル起こしゲーム」  
を始める。

トミオカ  
マリコ  
あ、（マリコたちに）いつがいいです？ 訪問調査。

（ヒロシに）いつがいい？

ヒロシ  
え？

マリコ  
「え？」じゃないよ。

ヒロシ  
俺、立ち会うの？

マリコ  
うん。私、ちよつとアレ（忙しい）だから。

ヒロシ  
え…

マリコ  
「え…」じゃないよ。

ヒロシ  
（トミオカに）立ち会わなきゃダメですか？

トミオカ  
まあ、

マリコ  
ダメだよ。

トミオカ  
なるべくは。

ヒロシ  
…（メンドクさい）

新聞紙とお手玉を持った、ヤマシロが来る。（テーブルに新聞紙を敷き、その上  
にお手玉を置く）

トミオカ  
それで調査の人に、（お母様の）いまの正確な状態、伝えた方が。

マリコ  
やってよ、それくらい。

ヒロシ  
まあ、やるけどさ、でも俺そんな頑張れないよ。

マリコ  
は？

ヒロシ  
メンタル弱いし。

マリコ  
私だって弱いわよ。

ホンマ、ヒロシとマリコの顔を、じつと見つめる。

ヒロシ  
お前、長男なんだから、どうのこうのってさ、

マリコ  
は？

ヒロシ  
そんな風に言われてもさ、

マリコ  
言っただけでしょ、そんなこと。

ヒロシ  
いや、叔父さんとかすぐ、そんな風に、

マリコ  
私、言っただけでしょって。

ヒロシ

困るんだよな。

ヤマシロ、新聞紙を（テーブルクロス引きのように）引く。

（その新聞紙の音で）四人、ヤマシロを見る。

ゴトウ

…ヤマさん、いまそれ、ちょっと（やめましょう）、

ヤマシロ

え？ ルールって、なるべくお手玉を落とさない…（だっけ）？

ゴトウ

ええ。「テーブルクロス引きゲーム」なんで、それ。

ヤマシロ

…ゴンドウ、

ゴトウ

あ、（名前）ゴトウです。

ヤマシロ

お前、冗談は顔だけにしろ。

ゴトウ

え？

ヤマシロ

これ（新聞紙）がテーブルクロス？

ゴトウ

ああ、

ヤマシロ

冗談は、顔だけにしてくんねえか。

ゴトウ

あ、はは（苦笑）、

ヤマシロ

笑ってる場合じゃない。大事なことだよ。

ゴトウ

え、

ヤマシロ

君はね、冗談は顔だけにした方がいい。

ゴトウ

…なるほど。

ヤマシロ

いや、本当に。

ホンマ

（突然、ヒロシとマリコに）お会いしたことがありますよね？

ヒロ・マリ

！…？

ホンマ

ね？

ヒロシ

いや…（ない）

ホンマ

前にほら、社交ダンスの教室で、一緒にほら、（ちょっと踊る）

ヒロ・マリ

…（え…）

ゴトウ

ホンマさん、たぶんそれ、ちょっと、

ホンマ

…人違い？

ゴトウ

ですね。

カキコ、再び来る。

カキコ

ごっちゃんさん、

ゴトウ

はい。

カキコ

（アゴにマスクしてるのを忘れ、二重にマスクをつけながら）今日は楽しかった。

ありがとうございます。

ホンマ

！（小声で）マスクマスク、

カキコ

？

ホンマ

アレ（二重）になってる、

カキコ

（気付き）あっ、あー（私ったら♡）、

ホンマ

はは♡

ヤマシロ

（カキコに）どこ行くの？

カキコ

ん？ 帰ります。いい運動になりました。

ヤマシロ (奥を指し) あんたの部屋、向こう。あんた、ここに住んでんの。  
カキコ …は？

ゴトウ ヤマさん、(口に人差し指をあて「シッ」のサイン)  
カキコ 住んでる？

ヤマシロ うん。

カキコ バカなこと言わないでくれる？

ヤマシロ バカ？

カキコ そんな訳ないでしょ。

ヤマシロ そうなんだよ。

カキコ ここは私の家じゃありませんっ。

ヤマシロ 口答えするなっ。

カキコ バカっ。

ヤマシロ 女は、ハイハイ言っつてりゃいいんだっ。

カキコ …(怒哀)

カキコ、奥に去る。

皆、しばし無言。

ゴトウ …ヤマさん、

ホンマ 言い過ぎ、

ヤマシロ うん…

ホンマ でも彼女にも困ったもんだ。(ヒロシとマリコに)ここに住んでること、すぐ忘れちゃうんです。

ヒロ・マリ …(うなづく)

ホンマ (ゴトウに) 相手して大変だ、コンドウくんも。

ヤマシロ ゴンドウだよ。

ホンマ あ、ごみん♡

ゴトウ …

ホンマ …(ヒロシとマリコをじっと見つめる)

ヒロ・マリ …(まさか…)

ホンマ お会いしたことあ(りますよね?)

マリコ はじめまして。

ホンマ …(あれ?)

セオが来る。

セオ お疲れ様です。(トミオカに気付き)あ、トミーさん(会釈)。  
トミオカ どうも。見学です。

セオ ああ、(ヒロシたちにも会釈) こんにちは。

ヒロ・マリ (会釈)

ヤマシロ 今日、遅いね。

セオ え？

ヤマシロ 重役出勤だね。

セオ 今日、夜勤なんで。

ホンマ おデート？  
セオ え？

ホンマ おデートでもしてきたの？  
セオ なんて？

ホンマ いや、遅いから。

カキコが、サランラップの芯でできた銃（弾はトイレットペーパーの芯）を手に、来る。

カキコ （猫みたく）シャーッ。

カキコ、銃でヤマシロを撃つ。

ヤマシロ ！

ヤマシロ、お手玉を投げて応戦。

ミュキとクボが、新聞紙でできた弓矢を手に、来る。

クボ そこまでよ。

カキ・ヤマ （弓矢を見て）！

カキコとヤマシロ、射られて、ひるむ。

ミュキ お客さんいらしてるんだから。（ヒロシたちに）すみません。

ヒロ・マリ …（はあ）

ミュキ （ゴトウに）じゃ、いってきます。

ゴトウ いってらっしゃい。

ミュキ、去る。

カキコ …（再び）シャー。

セオ カキさん、

セオ、袖をまくって、タトウーを見せる。

！（おびえる）

ホンマ モンモンしよってる…

クボ （カキコに、優しく）お部屋、戻りましょうか。

カキコ クウーン…

クボ 怖かったね。

クボとカキコ、去る。

ホンマ （ヒロシとマリコに）彼女、モンモンがトラウマみたいで。

ヤマシロ （セオに）どこの組のなんだ。

セオ モンモンって（言い方古い）、

（ホンマとヤマシロに）お二人も、戻りましょうか。

ホンマ なんて？

ゴトウ いや、（お客さん）いらしてるんで、えー、

ヤマシロ はっきり言えよ。

セオ おじやま虫。

ホンマ （！）…（ヤマシロに）俺の部屋で、またアレ観る？

ヤマシロ え？

ホンマ あのドラマ。あのー、配信のやつ。

ヤマシロ ああ。あー、アマゾン・フリックス？  
ホンマ え？

セオ (タイトル) なんてドラマ？  
ホンマ なんだっけ？

ヤマシロ あ、あー、

ホンマ あー、

ヤマシロ あー、

ホンマ 主役の女優、背高くて、足長くて、

ヤマシロ ボインちゃん。

ホンマ そう。

セオ あっ、(言い方よくない)

ホンマ あ、(セオに) ボインちゃんの元祖って、誰だか知ってる？

セオ ? 元祖？

ホンマ 知らないか。

セオ うん。

ヤマシロ 朝丘雪路。

ホンマ、セオ、ヤマシロ、去る。

スマホの着信音。

トミオカ (スマホを出し、通知された名前を確認) あ、(ヒロシたちに) すいません、ちよっ

と、

マリコ はい。

トミオカ、電話に出るため、去る。

クボが来る。

クボ ゴトウさん、

ゴトウ え？

クボ チョコマみれ？ カキさんが食べたいって。

ゴトウ ああ。

クボ どこにあります？

ゴトウ あ、あー、(ヒロシたちに) すいません、ちよっと、

マリコ はい。

クボ、ゴトウ、去る。

マリコ : なんか、どうなんだろ、

ヒロシ え？

マリコ 大丈夫かな？ ここ(この施設)。

ヒロシ : (資料に書かれた、利用料金表を見て) ん？

マリコ え？

ヒロシ いや、お金、ひと月でこの料金ってこと？

マリコ ん？ (表を見る)

ヒロシ けっこうするね…

マリコ 違う違う、(表を指しながら) この料金プラス、これでしょ。

ヒロシ えっ…

マリコ いや、(こういう施設の料金) 大体そんなもんよ。

ヒロシ …ここ来る途中に、すごい立派な老人ホームあったよね、あったね。

ヒロシ 高いのかな？

マリコ うん。この倍くらいするんじゃない？

ヒロシ えっ…

マリコ いや、もっと(する)か。

ヒロシ うわ、やっぱ(世の中) 金か…(頭を抱える)  
金だよ。

ゴトウが戻って来る。

ゴトウ あ、(席外して) すいません。

マリコ いえ。

ゴトウ こちら、よろしければ。(チョコまみれを差し出す)

マリコ え。

ゴトウ うわさの、

マリコ チョコまみれ。

ゴトウ はい。お茶、入れてきます。

マリコ いや、お構いなく。

ヒロシ あの、

ゴトウ はい。

ヒロシ さっき所長さんにかがったんですけど、いま空いてる部屋って一部屋だけですか？

ゴトウ ええ、そうですね。

ヒロシ じゃあ決めるなら、早い方がいいですよね？

ゴトウ まあ。ちょうど今、空きが出た感じなんで。

ヒロシ ああ。

トミオカが戻って来る。

ゴトウ 見学って、他にも行かれてるんですか？

ヒロシ いや、今日初めてですけど、

マリコ 明日また、違うところにも行ってみる予定です。  
なるほど。

トミオカ (ヒロシたちに) 明日の件、キャンセルで。

ヒロ・マリ えっ。

トミオカ いや、ちょうど今、その施設から電話きまして、お部屋今日、全部埋まったってことなんで。

ヒロ・マリ ああ…

トミオカ どの施設も空きが少ないですね…

マリコ …(ヒロシに) もうちょっと、様子見る？ 施設じゃなくて。

ヒロシ 一人暮らしで？

マリコ うん。ヘルパーさん頼むとかして、  
ヒロシ ……難しくない？

マリコ なんて？

ヒロシ 泥棒の妄想あるからさ、財布無くしたら、ヘルパーの人、疑うかも、

マリコ ああ…

ヒロシ ていうか昨日、俺のこと思いっ切り疑ってたからね。

マリコ 「あんたが盗ったの？」って？

ヒロシ うん…

マリコ (ため息)

トミオカ 息子さん、

ヒロシ え、

トミオカ それはお母様があなたを、頼りにしている証拠ですよ。

ヒロシ ? は?

トミオカ 間違っても許してくれる人でなければ、疑いをかけることはできない。

ヒロシ ……ん?

トミオカ いまお二人は、戸惑いや混乱の時期ですよ、ご家族の、心理的ステップで言うと。

マリコ ステップ?

トミオカ はい。でもこれからは、その先のステップ、受容する、受け入れるというステップに進むしかない。(ゴトウに) ね。

ゴトウ え、

トミオカ 問題に向き合うのはご家族なんです。私はサポートしかできない。でも全力でサポートします。

ヒロ・マリ ……(ちよつと引く)…

トミオカ 介護を通じて、老いとは何か、人間とは何かを考え、気づきを得る人もいます。向き合います。(ゴトウに) ね。

ゴトウ ……(お二人、引いてるな…)

ミユキが来る。

ミユキ (ヒロシたちに) お車で、いらしてますか？

ヒロシ え?

ミユキ 軽の、黒のお車ですか？

ヒロシ ああ、そうです。

ミユキ ハザードランプ、つけっぱなし。

ヒロシ えっ?

ミユキ はい。

マリコ 上がっちゃう、バッテリー。(ミユキに) すいません。

ヒロシとマリコ、去る。

ミユキ よかった、気付いて。(ゴトウとトミオカに) ね。

トミオカ (グッドポーズ)

ミユキ、去る。

ゴトウ ……トミー、なんか、

トミオカ え？

ゴトウ ちよっと、わるい癖でてるっていうか、  
トミオカ は？

ゴトウ 仕事熱心なのは分かるけど、  
トミオカ わるい癖？

ゴトウ いや、  
トミオカ どういうこと？

ゴトウ いや、いや。  
トミオカ よくないよくない。

ゴトウ いや、まあ、うん。(去ろうと)  
トミオカ どこ行くの？

ゴトウ え、お茶、入れてくる。  
トミオカ 手伝うよ。

ゴトウ いいよ、そんな。  
トミオカ わるい癖？

ゴトウ まあ、まあ、  
トミオカ どういうこと？

ゴトウとトミオカ、去る。  
転換。

## 2 〈研修①〉

ハラの声

ハラが、LINEでメッセージを入力している。(ナレーションが入る)

「前略、ディア・マザー。お元気ですか？ こんど仕事をかわりました。介護のお仕事はじめました。やっていけるか、正直不安。今日はこれから夜勤の研修。緊張です。でもがんばろう。夜勤なので、夜勤手当がつくのです。がんばります。(送信)」

セオが来る。

ハラ

(立ち) よろしくお願いします。

セオ

ああ。

ハラ

あらためて、ハラと申します。

セオ

ああ、あ、セオです。あ…(イスを指す)

ハラ

はい。(座る)

セオ

(自分も座り) ……

ハラ

…

セオ

あー、

ハラ

はい。

セオ

あ、いや、

ハラ

私、夜勤って初めてなんですよ。

セオ

ああ、そう。

ハラ

昔コンビニでバイトしてたんですけど、夜勤はやらなかったんで。

セオ

ああ、そう。

ハラ

大変ですか？

セオ

…(まあ、大変っちゃあ…)

ハラ

なんか、コツとかあれば、

セオ

コツ？

ハラ

はい。

セオ

…大事なのは、

ハラ

はい。

セオ

ペース配分、気分の転換、

ハラ

(よく分からず) え？

セオ

ほら、朝まで長いから、

ハラ

(なるほど) たしかに。あ、

セオ

え？

ハラ

これ(スマホ)でメモとっていいですか？ 失礼でなければ。

セオ

全然いいけど。

ハラ

(メモしだす) ペース配分…

セオ

気分の転換、

ハラ

(メモリながら) たしかに。

セオ

…え、研修って今日だけ？

ハラ

いえ、三回あるって(言われました)、

セオ

三回も？

ハラ はい。次はクボさん、ラスト所長さん、  
セオ そんな（やんなくて）いいのね。まあ今日私なんで、落ち着いて、気楽な感じで。  
ハラ ありがとうございます。

セオ まずとりあえず、（奥の棚を指し）なんか本でも読もつか。  
ハラ ……いいんですか？

セオ うん。やることやれば大丈夫。後でバッチリ仮眠もとるし。

ハラ 私、仮眠って、初めてです。

セオ ああ、そう。

ハラ なんか、コツとかあれば、

セオ ……？ 仮眠の？

ハラ （棚を見て）なんかマンガありますよね、

セオ ああ。

ハラ （マンガを手にし）……フードファイター？

セオ ああ、女子高生の、

ハラ へえ。

セオ それ、私が持ってきた（マンガ）。

ハラ 面白いんですか？

セオ うん。けっこうリアル。

ハラ リアル？

セオ うん。

ハラ リアル？

セオ ……はい。

ハラ え、もしかして、（フードファイター）やってたんですか？

セオ ……昔まあ、ちょっと、

ハラ えっ、すごいじゃないですか。

セオ いやいや、別に。

ハラ えっ、ガチでやってたんですか？

セオ 一時期、ちょっとね、

ハラ すごいじゃないですか。質問です。

セオ ……はい。

ハラ 大食いって太るってイメージですけど、セオさんも違いますよね、なんでですか？

セオ ー、大食いすると、胃袋どうなる？

ハラ ……でっかく、

セオ 膨らむね。太ってるとほら、脂肪がさ、

ハラ ああ。

セオ 胃を圧迫。

ハラ たしかに。

セオ 太っちゃダメ。私、毎日走ってた。

ハラ 私もけっこう食べるの好きで、バイキングとか、周り引くくらい食べる時あって、  
けっこう量いけるんですよ。

セオ へえ。  
ハラ 素質ありますか？

セオ ……どうだろう、

ハラ え、ダメ？

セオ ……バイキング行って、なに食べるかどうか決める？

ハラ ……自由に決める。

セオ 色んな物を食べるよね。すると量はいけるんだよ。大食いはほら、食材がき、

ハラ ああ…

セオ 同じ物を食べ続ける。

ハラ たしかに。

セオ 制限時間60分ならその間、疲労、満腹、食材への飽き、

ハラ たたかいですね。

セオ 可能だったら、調味料とかで味変して、気分を変えて、

ハラ あっ、

セオ え？

ハラ 「ペース配分、気分の転換」、さっきのメモとつながりました。さてはセオさん、フ

ードファイターの経験を、夜勤の仕事にいかしてますね？

セオ そう…なのかな…

(紙コップと割箸で作った)ハンマーを手に、ホンマが来る。

(ハラを見て)お、新人さん。

セオ ハラさんです。

ホンマ うん(知ってる)、ハラダさん。

ハラ ハラです。

ホンマ うん。ハラダさん、よろしく。(セオに)アレある？(奥を見て)あ、あった。

セオ それ(ハンマー)作ったんすか？

ホンマ うん。(奥に行き、重なった紙コップを手に取る)、(歌う)やんちゃなモグラが、ず

んずんずん♪(『もぐらトンネル』)

ハラ あ、並べましょっか？

ホンマ ありがと。お顔は前に。

ハラ はい。

ハラ、テーブルに紙コップを並べる。(コップにモグラの顔が書かれていて、それを前にして並べる)

(ホンマに)どうでした？ ボインちゃん。

セオ え？

ホンマ ドラマ。ヤマさんと観たんでしょ？

(忘れていて)え？

ハイライトを手に、ヤマシロが来る。

ヤマシロ お、(ここに)いた、(ホンマとセオに)行かない？

セオ 一服？

ヤマシロ うん。

セオ あ、カギ締めちゃった。  
ヤマシロ え？  
セオ もう8時なんで。  
ヤマシロ ちよつと(カギ)開けてよ。  
セオ いいけど、ちよつと吸いすぎじゃない？  
ヤマシロ メールを受信音(ヤマシロのスマホ)。  
次郎からメール来た。  
セオ おっ。  
ヤマシロ おお。  
セオ すごいっすね。消しましょ。  
ヤマシロ え、消すの？  
セオ うん。それ、アレ(迷惑メール)なんで。  
ヤマシロ アレか…  
ハラ やりましょつか？  
ヤマシロ あ、うん♡(スマホを渡す)  
ホンマ (ヤマシロに)俺たち、なんかドラマ観た？  
ヤマシロ え、うん。  
ホンマ 観たんだ…  
ヤマシロ 観ただろ。  
ホンマ (セオに)観たって。  
セオ ああ。どうでした？  
ヤマシロ え、あー…(洗面)、  
セオ イマイチ？  
ヤマシロ なんか：アレなんだよな、  
ホンマ、紙コップモグラたたきゲームを始める。  
ホンマ いきます。(モグラをキャッチ)  
セオ (ホンマを囁す感じで)フウー。  
ハラ (ヤマシロに、スマホを返し)アレって？  
ヤマシロ 俺さ、いまの役者、全般に対して、思うことがあるんだよ。  
セオ おっ？  
ハラ いまの役者に思うこと？  
ヤマシロ 脚本家、三谷：あー、(ホンマに)なんだっけ？  
ホンマ あー、  
ヤマシロ あー、官九郎だっけ？  
ホンマ ああ、彼ね。  
ハラ いまの役者、みんな三谷官九郎の手下みたいになってない？  
ホンマ はあ…  
ヤマシロ なるほど。ヤマさん、タッチ。  
え？

ホンマ、ヤマシロにタッチし、ハンマーを渡す。

やんちゃなモグラが、ずんずんずん♪

ヤマシロ (モグラをキャッチ)

セオ・ハラ フゥー。

ヤマシロ (くだらねえ…)

ホンマ 俺はさ、いまの歌、全般に対して、思うことがあるんだよ。

セオ いまの歌に思うこと？

ホンマ なんで、あんな速いの？ 歌詞が全然聞き取れない。とくに若い人。(ハラに) なんで？

ハラ …速い？

ホンマ 早口。なんか大急ぎ。

ハラ ああ…

ホンマ なんで？

ハラ (さあ…)

ヤマシロ 速いね。追われてんだな、

ホンマ 追われてる？

ヤマシロ 無意識的に。

ホンマ ？ん？

ヤマシロ 我々の無意識が、いまの時代の社会の無意識に、追い立てられてる。

ホンマ …んー(セオとハラを見て)、(そうなの？)

セオ・ハラ (さあ…)

ホンマ じゃあ、ゆっくり歌おう。(ゆっくり) やんちゃなモグラが、

三人 ずんずんずん♪

ヤマシロ (ハンマーでホンマをたたく)

ホンマ (いてっ)

ヤマシロ やめろ、ずんずん(歌うの)。

ホンマ は？

ヤマシロ それより、なんだ、これ。

ホンマ え？

ヤマシロ このゲーム。

ホンマ モグラたたきだよ、(セオたちに) ね。

ヤマシロ お前ら、冗談は顔だけにしろ。

三人 (！)

ヤマシロ これ(紙コップ)がモグラ？

ホンマ そうだよ。(モグラの顔を指し) 見ろよ、ほら。

ヤマシロ (紙コップを握りつぶす)

セオ ヤマさん、

ホンマ ！ 怒った。表に出ろっ。

ヤマシロ 上等だよっ。

セオ ストップ！ 分かった。表に出て、ゆっくり一服しましょう。(ヤマシロに) 一服し

にきたんでしょ？

ヤマシロ え、ああ…（うなづく）

セオ うん。カギ開けるんで、行こう行こう。

ヤマ・ホン …（にらみ合う）

セオ ほら。

ヤマシロ、ホンマ、去る。

あ、（ハラに）喫煙所って外にあって、夜になったら、基本締めるの。

ハラ ああ。

カギの場所、教えるんで。

セオ はい。

セオ、ハラ、去る。

転換。

クボがいる（ヨガの鷲のポーズをしている）。  
タオルを手にしたハラが来て、クボにタオルを渡す。

クボ、肩こり解消のペアストレッチ（イスに座ったハラの背中に、タオルを置いて膝を当て、ハラに手を後ろで組んでもらい、その肘を持って、組んだ手を後ろに引く）をする。

クボ 大胸筋（が伸びてる）、  
ハラ はい。

クボ 痛くない？

ハラ 大丈夫です。

クボ （ストレッチを終え）はい、OK。

ハラ ありがとうございます。

クボ あと肩こりには、これが効く。（タオルの両端を持って伸ばし、頭の後ろで上下させる）

ハラ 肩甲骨？

クボ そう。（タオルを渡す）肩甲骨をギュンツて動かす。

ハラ はい。（やってみる）

クボ 背中もスッキリしてくるから、背中美人。フウ。

ハラ ああ。

クボ 腰は大丈夫？

ハラ はい。

クボ …この仕事、まず大事なのは、腰に気を付ける。やっちゃう人多いから。

ハラ ああ、みたいですネ。

クボ あと、腰以外で大事なのはもう、一つしかない。

ハラ あ、メモしていいですか？（スマホを出す）

クボ え、あ、それでメモ？ フウ（どうぞ）。

ハラ （メモを取る体勢）

クボ 大事なのは、コミュ力。それだけ。

ハラ え。

クボ 一から十までホントにそれ、

ハラ コミュ力。

クボ そう。口数多く。数打ちゃ当たる。元気に騒ぐ。

ハラ （メモする）

クボ …話変わるけど、セブンのアプリって入れてる？

ハラ いや、セブンは（入れてません）。

クボ 入れた方がいい、すぐそこ（近くに）あるし。クーポンがけっこうね…（スマホを出して、見る）

ハラ コミュ力大事で…

クボ 元気に騒ぐ。

ハラ （メモする）

クボ (スマホを見て) あ、これ(クーポン)もうアレだ。  
カキコが来る(シリアスな顔)。

クボ (気付き) あ、カキさん、どうしました？

カキコ ……たいしたアレじゃ…いま何時位？

クボ もう夜中ですよ。眠れない？

カキコ うん…クボちゃん寝ないの？

クボ はい。元気なんです。

カキコ あ…(ハラに会釈)

ハラ (会釈)

クボ 新人のハラさん。ハラだから、(ニックネーム)あー、ハラ坊ちゃん？ フフ。「背

中美人、目指してます」つつって。ハラ坊って(分かる？)

黙ってっ。

カキコ (…)

クボ ちょっと…お話あって。

カキコ はあ。なんでしよう？

クボ ごっちゃんのこと、

クボ ゴトウさん、はい。

カキコ 今日仕事中…社会の窓が開いてた…

クボ ……

カキコ 全開だった…注意しといて。

クボ 言っときます。「てんめー」つつって。はい。

カキコ (ため息)

クボ ゴトウさん、ぶっちゃけ、ちょっと抜けてるからな。…(ハラに)「ぶっちゃけ」っ

ハラ て言葉、もう古い？

クボ え？

クボ 『ぶっちゃけ』って、ぶっちゃけ古い？」つつって。

カキコ 「それなー」

クボ・ハラ (…)

カキコ (ハラに)「それなー」ってどういう意味？

クボ ああ、共感ってこと。「私もそう思うー」みたいな。

カキコ あんたに聞いてないっ。

クボ (…)

カキコ ……(突然、耳をすます)

クボ・ハラ ?

カキコ さあ…

クボ・ハラ ?

カキコ さらさらさあ…

クボ・ハラ (こわい…)

カキコ どこからか、音がする…

クボ 音？

カキコ 若き血潮の、流れる音…(ハラに) あなたね!

ハラ (驚) わ!

カキコ さらさらさあ〜(ハラの周りを回りだす)

クボ …(カキコの真似をして回る)

カキコ クボちゃん、聞こえる?

クボ うん。さらさらさあ〜

カキコ さらさらさあ〜

ハラ (どうすれば…)

クボ さらさらさあ〜

ハラ さらさらさあ〜♪(ターンを決める)

カキコ・クボ おお…

ハラ さら〜♪(もう一度ターン)

カキコ・クボ (拍手)

ハラ (一礼)

カキコ …なんか…疲れた、

クボ 疲れちゃった?

カキコ 寝ようかな…

クボ 寝ましようか。

カキコ おやすみなさい。

クボ おやすみなさい。

カキコ、去る。

クボ (一息つく)…(ハラに) お疲れさま。

ハラ はあ。

クボ 座ろっか。

ハラ はい。

クボ (座り) んー、カキさん今夜、不穏だなー。

ハラ そうなんですか?

クボ うん。…え、ダンスとかやってたの? キレよかった。

ハラ やってたっていうか、今もちょっと(やっています)。

クボ やってんだ、へえ。ああいうその、振り付けとか、よく覚えるよね。

ハラ まあ、練習すれば。

クボ ああ。(スマホを持ち) ちょっと、セブン行ってもいい?

ハラ え、セブン?

クボ うん。

ハラ 今ですか?

クボ 今。チャチャツと。

ハラ はあ。

クボ ロッテ、ラミーチョコ、半額だつて。

ハラ クーポン。

クボ そう。期限、今日まで。急がなきゃ。

ハラ  
クボ  
ハラ  
クボ

ああ。

なんで、(立ち) ちょっと、行ってきます。「練習でもしてな」つつって。

練習？

レッツ・ダンス。

クボ、去る。

転換。(転換中、ハラはダンスの練習を少しして、去る)

ミュキと、ゴトウ（私服）がいる。

ゴトウ （俺は）反対です…

ミュキ トラブル防止（という理由）、

ゴトウ 現金預かるのはまあ、アレですけど、

ミュキ スマホは違う？

ゴトウ え、トラブルって、たとえば？

ミュキ 有名人…小泉進次郎からメールが来るとか、

ゴトウ 俺も美輪明宏からメール来ますよ。

ミュキ そういう、なりすまし。

ゴトウ 消せばいいでしょ。

ミュキ つい返しちゃう人もいるかもよ。

ゴトウ ー…俺、前にいた施設で言われたことあるんですよ、「ここは鉄格子のない刑務所

ミュキ なのか？」って。そういう思いを、ここではね（させたくない）、

それは私もおなじ気持ち。だから取り上げる訳じゃなくて、納得の上で預かるつ

ミュキ てこと。

ゴトウ …まあ、ミュキさんが、所長が、決めることなんで。でも私は反対です。

ミュキ うん…

ゴトウ じゃあ、上がります。

ミュキ ああ。ごめん、引き止めて。

ゴトウ いえ。（去ろうと）

ミュキ あ、ごっちゃん、

ゴトウ え？

ミュキ ま、大丈夫と思うけど、身だしなみね、あらためて気を付けて。

ゴトウ …クボさんになんか言われました？

ミュキ まあ、ちよつと。

ゴトウ …あの人なんか、いつも俺が社会の窓開いてるみたいな言い方で、注意してきて

（頭にきた）…、いつもじゃなくて、ごくたまにですよっ。

ミュキ ……

ゴトウ クボさんこの前仕事中、ロッテのラミーチョコ食べてました。

ミュキ え、

ゴトウ あれってアルコール入ってんすよ、ラム酒。いいんですかね？ 仕事中に。

ミュキ ……

ゴトウ 失礼します。

ミュキ ……

ゴトウ ……

ミュキ ……

ゴトウ ……

ミュキ ……

ゴトウ ……

ミュキ ……

ミュキ ラストだね、研修。  
ハラ はい。  
ミュキ まあ、座って。  
ハラ はい。(座る)  
ミュキ 二人からは、どういう風に教わった？  
ハラ ああ、(スマホを出す)  
ミュキ え？  
ハラ メモ取ってるんで。  
ミュキ それにメモ？  
ハラ はい。  
ミュキ :(やや険しい顔)  
ハラ :ダメでした？  
ミュキ 良くはないけど…まあ、(メモ)読んでみて。  
ハラ はい:「気楽な感じで、気分転換」  
ミュキ ? ん？  
ハラ セオさんから:(教わりました)  
ミュキ :続けて。  
ハラ 「コミュニケーション解放。元気に騒ぐ」  
ミュキ なにそれ、  
ハラ クボさんから:  
ミュキ (ため息):セオちゃんちょっと特殊だし、クボちゃんはクセが強い:いったんそれ、全部忘れよっか。  
ハラ えっ:はい。  
ミュキ まず気楽にやっちゃダメ。たとえば仮眠する時も、爆睡禁止。  
ハラ はい:  
ミュキ あと騒ぐってダメ。コミュニケーションって、そういうことじゃない。  
ハラ はい:  
トミオカ トミオカが来る。  
ハラ 失礼します。(ハラを見て) ああ、  
トミオカ ああ、トミーさん。  
ハラ どうもどうも。  
ハラ (会釈)  
ミュキ え、どうしたの？  
トミオカ いや、ちょっと近くまで来たもんで(寄りました)。いま、お忙しいですか？  
ミュキ いや、まあ大丈夫。  
トミオカ (ハラに) え、今日は夜勤？  
ハラ はい、研修です。  
トミオカ へえ。:この前言ったアレ、ちょっと入れてみた。  
ハラ え？  
トミオカ アプリ。

ハラ ああ、どうでした？

トミオカ うーん：

ハラ 「うーん」って感じ？

ミュキ (なんの話？)

トミオカ (ミュキに)「ポジティブ変換」っていうアプリがあって、(ハラに)ネガティブな言葉をね、

ハラ AIが、ポジティブな言葉に変換してくれるんです。

ミュキ へえ。たとえば？

トミオカ ー：「バツイチ」って入力すると、「シングル・アゲイン」とか、

ミュキ ああ。

トミオカ 「マリッジ・キャリア」とか、

ミュキ (首を傾げる)

トミオカ イマイチですか？

ミュキ ：「エックス・ワン」って言い方、昔なかった？

トミオカ ありましたね。

ハラ 「エックス・ワン」？

ミュキ 「バツイチ」を、英語風に読む。

ハラ ：ああ(なるほど)。

トミオカ それ言い出したのたしか、やしきたかじん。

ミュキ たかじん：(懐かしい)

トミオカ (ハラに)じつは俺、エックス・ワン。

ハラ ああ(そうなんだ)。

ミュキ じつは私も、

ハラ エックス・ワン？

ミュキ (うなづく)

雨の音。

トミオカ あ、洗濯物：

ミュキ え？

トミオカ 干しっぱなし。

ハラ え？ 入れましたよ。

トミオカ いや、タオルがまだ、

ハラ え、タオル？

トミオカ うん。

ハラ あ、(入れてないかも)、見てきます。

ハラ、去る。

トミオカ ：(耳をすます)

ミュキ ？

トミオカ 「雨のおとがきこえる」

ミュキ …うん、

トミオカ 「雨がふっていたのだ」

ミュキ ?

トミオカ 「あのおとのようにそつと世のためにはたらいていよう」

ミュキ ……

トミオカ 「雨があがるようにしずかに死んでゆこう」

ミュキ ……(え…)

トミオカ 八木重吉。うちのじいちゃんが好きな詩です。

ミュキ ……ああ、詩を、読んだのね。

トミオカ はい。

ミュキ なんか、唐突だよね、トミーって。

トミオカ わるい癖ですか？

ミュキ わるいとは思わないけど。

トミオカ ……うちのじいちゃん、昭和ひとけたなんですよ。

ミュキ お元気なの？

トミオカ いや、入院してて…まあ、そろそろじゃないかって。

ミュキ ああ…

トミオカ 見舞いに行くとは必ず、「お見合いでもして結婚しろ」って言うんです。

ミュキ エックス・ワンで、独身だから？

トミオカ はい。「嫌だ」って言うのと、「なんでだ、おもいびと思っているのか？」って聞かれて、

ミュキ 思っている？

トミオカ 好きな女性ってことでしょうね…(…沈黙)

ミュキ ……(え…)

トミオカ ……いるって答えました、好きな女性。

タオルを手にしたハラが戻って、顔を出す。(二人の様子を見て、なんとなく奥に潜む)

ミュキ ……

トミオカ ……いるって答えました…

(ハラと反対側の)奥から、ホンマ(肩にフラフラプをかけている)が顔を出し、聞き耳を立てる。

ハラ (気付き)……(あっ、ホンマさん)

ホンマ (シツ)

トミオカ 思っている……あなたです。

ミュキ !

ハラ・ホン (…)

トミオカ ……ふうっ(息を大きく吐いて、すこし歩き回る)、

ハラ・ホン (…)(…)(隠れる)

トミオカ ……言っちゃった……すみません、唐突に。

ミュキ 唐突……ホントに…

トミオカ すいません、えー、じゃ、帰ります。

ミュキ え、え？

トミオカ いや実は今日、ミュキさんにこれを言いに来たっていうか、…もしよければ今度、お食事でも、

ミュキ あ、え？ ああ…

トミオカ もしよければ（行きましょう）。あした朝早いもんで、帰ります。

ミュキ ああ…

トミオカ、軽快に去る。

奥から、トミオカの声「（ハラがいたので驚く）はっ」

ハラの声「（平静を装い）お帰りですか？ お疲れ様でした」

ホンマ、また顔を出す。

ハラ、来る。

ハラ …タオル、忘れてました、すいません。

ミュキ …（うなづく）

ハラ …（タオルを畳みだす）

ミュキ …あとで休憩中、たかじんの曲でも聴こうか。

ハラ （たかじん？ 誰？）

ミュキ …なんていうか、気楽っていうのはまずいけど、仕事は楽しくやりました。…ち

よっとトイレ行ってきまーす♪（軽快に去ろうとしたら、ホンマがいたので）は！

ホンマ は！

ミュキ びっくりしたー、もう。

ホンマ はは。

ミュキ、去る。

ホンマ …はは…（フラフラを回す）

ハラ …（肩をすくめ、両手のひらを上に向けるジェスチャー）

転換。



セオ はい。  
クボ でもなんか…前にいた施設で、ごはんのあと急に、タイムスリップした人いた、  
セオ タイムスリップ？  
クボ ていうか、ほら、頭の中が、若い頃の自分に戻っちゃって、  
セオ あ、そのパターンか。  
クボ それも一種の物忘れだよね、いまの自分を忘れちゃって、  
セオ 昔の記憶がよみがえる、  
クボ そう。  
セオ え、みょうが食べたの？  
クボ もしかしたらそうかも。：「みょうがときゅうりの和え物」的な（メニューで）  
出てたかも。  
セオ じゃあ、みょうががトリガーで：  
クボ タイムスリップ：  
セオ 『時をかける少女』、観ました？  
クボ うん、観た、昔。  
セオ あれ、ラベンダーの香りがトリガーですよね？  
クボ そうだっけ？  
セオ はい。  
クボ …ていうか、セオちゃん、落語とか聞くんた。  
セオ 夜勤の時、たまに。ゴトウさんにすすめられて、  
クボ ゴトウさん…（洗面）  
セオ え？  
クボ あのさ、私がお酒入ったチョコ食べてたって、所長にチクってんの。  
セオ そうなんすか？  
クボ 落語なんか聞くんた、だから時々冗談言いたがるんだ、あの人の冗談つまんないけど。  
セオ おっ、  
クボ カキコが、聞き耳を立てながら来る。  
セオ あのヒゲ（ゴトウのこと）さ、なんか、仕事もテキトーなんだか、神経質なんだか、よく分かんないよね、うん、嫌い嫌い。  
セオ （嫌いって）言っちゃった、  
クボ カキコちゃん、  
クボ （！）  
セオ 他人の悪口…  
クボ ……  
クボ 楽しいよね。  
カキコ 楽しい。  
クボ ぐっちゃんよく、おやつの時間、「ちょこっとチョコでも食べますか？」って、私にすっごい言ってくる。

クボ・セオ うわ…

カキコ …でもチョコ食べたいな。

セオ え、今？

カキコ うん。

クボ ありますよ。(ポケットから、バツカスチョコレートを出す)

カキコ ♡

セオ あ、それもアレじゃない？

クボ うん、ブランドー入り。

セオ (食べて) いいの？

クボ んー、いいっしょ。

セオ いっか。

クボ (カキコに) 所長には内緒ね。

カキコ お酒入り？…

クボ うん。

カキコ、一瞬フリーズ。(時が止まったかのような、照明変化と音)

クボ ? どうしました？

カキコ …いや、

クボ (バツカス) どうぞ。

カキコ (もらう)

クボ (セオにもすすめる)

セオ どうも。(もらう)

クボ・セオ (食べて) んー(うまい)、

カキコ これ、

クボ ん？

カキコ ウイスキーボンボンみたいな(チョコ)？

セオ うん(うまい)、

クボ たまらん、

セオ たまらん、

カキコ 懐かしい…(食べる)

原田知世『時をかける少女』が流れる。  
転換。

カキコを見る、夢の中。

(記憶が生々しくよみがえり、タイムスリップしている)

看板に「PUB 淑」と書かれている。

店員のマリコ、(客席に) チンピラ風のヒロシとゴトウがいる。

萩原健一『前略おふくろ』(カラオケ)が流れる。

客席から、オサムが現れ、歌う。

オサム

前略おふくろ お元氣ですか こんど仕事を かわりました

どうかぜひにと 呼ばれたんです ぼくもそろそろ 芽が出そうです

ウソじゃないです ホントのことです 仕事がたのしい今日この頃：

それからおふくろ お願ひひとつ お金が少々 足りないのです

月末になれば すぐ返せるし こづかい送ってあげられそうです

女の子には 目もくれないで 早寝 早起き今日この頃：

カラオケの曲は終わるが、オサムはマイクを離さず、アカペラで続きを歌おうとする。

追伸おふくろ おやじさんには

おい、

このこと内緒に

おいっ、

歌やめろコラっ、

あ？

やめろ、このタコ、

なんだコラ、チンピラ、

あ？

パブで歌って何が悪いんだ、この野郎、

曲終わってんだろうが、このイモ野郎、

なんだ、このシヨンベンハゲ、

なんだ、この便所コオロギ、

なんだ、このバカ一号二号、

てめえ半殺しにするぞ、

ダニ野郎が、

やってみろ、この野郎(テーブルにある皿に盛られた、ウイスキーボンボンを投げ

つける)、

(オサムに) おいっ、そこの田吾作っ、

あ？

それ(ウイスキーボンボン) 投げんじゃねえよ、フンコロガシが、

なんだコラ、アバズレ、

なんだコラ、ポン中、

ポン中じゃねえよ、

オサム

マリコ

オサム

マリコ

オサム

マリコ

オサム

ゴトウ

ヒロシ

オサム

ゴトウ

オサム

ゴトウ

オサム

ヒロ・ゴト

オサム

ヒロシ

オサム

ゴトウ

ヒロシ

オサム

ヒロシ

オサム

兄貴分風のホンマが来る。

ホンマ おい(うるせえな)、

ヒロ・ゴト (ホンマに頭を下げる)

オサム (!) ::?

ホンマ なに騒いでんだ? 「そりゃ もう大騒ぎ」か?

ヒロシ デデデデ♪(『港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ』)

ゴトウ ホンマさん、こいつ(オサム)、マリコに向かってアブズレって言いましたよ。

ホンマ (なにイ) :

マリコ そんなでウイスキーボンボン投げて、暴れてんの。

ホンマ :(オサムに) このケツモチ、どこだか分かってんのか?

オサム え?

ホンマ この店のバックには、ヤクザがついてんだよっ。

オサム !

ヒロシ どう落とし前つけるんだ?

ゴトウ エンコ詰める、

オサム エンコ?

ゴトウ 指詰めろっつってんだよっ、

オサム !

ヒロシ マリコ、道具(たのむ)、

マリコ まな板、包丁、用意するわ。

ホンマ まあ待って待て。:(オサムに) お兄さん、カタギだよね?

オサム はい:

ホンマ なにかと困るんじゃない? 指落とすと。

オサム :(カンベンしてくださいっ(土下座)、

ホンマ :(ヒロシたちに) まあ、今回は見逃してやるか、

ヒロ・ゴト ホンマさんっ、

ホンマ まあまあ。鼻クソもほじれなくなると、かわいそうだからさ、

オサム (安堵)

ホンマ そんなかわり今夜、俺らの呑み代、おごってもらうぞ。

オサム あ、はいっ。

ホンマ よし。(ヒロシたちに) ジョニ黒でも飲むか、

(店の奥から) 店長のヤマシロが来る。

マリコ (オサムに) ざまあみろっ、

ヤマシロ マリコ(客に向かってなんだ)、(ホンマたちに) え、なに(騒いでんだ)?

ホンマ (挨拶) よっ、こんばんワイン。

ヤマシロ うるせえよ。またタカってんのか?

ホンマ :(ヤマちゃん、

人聞きわるいなあ、

ヒロシ やめろよ、そういうこと。

ゴトウ 違いますよ。その客(オサム)、マナーがなってねえから、

ヤマシロ え？

マリコ マイクをさ、全然離さないわけ、

ヤマシロ そうなの？

ヒロシ リサیتالやってるわけ、

ゴトウ マナー違反さ。

ホンマ だからヤキ入れたわけ。

ヤマシロ (オサムに) そうなの？

オサム ……今日、声の調子があっても良くて…

ヤマシロ ここ、カラオケパブだから。皆で楽しく歌う店。君だけのマイクじゃない。

マリコ みんなのマイクってわけ。

オサム はい…

ヤマシロ 君は、隅っこで大人しく飲んで下さい。

オサム はい。

オサム、隅に移動。カキコが来る。

カキコ おはようございます。

ホンマ よっ、こんばんワイ…

マリコ ちょっと、遅刻じゃない？

カキコ あ、電車の中で寝過ぎまして…

ヤマシロ え、また？

カキコ すいません、店長。

ヤマシロ コラ、新人。

マリコ あんた、よく寝るわね。

カキコ いや…

ヤマシロ 目、腐っちゃうよ。

ホンマ え、カキちゃん、お疲れなの？

カキコ 今日、レッスンあって、

ホンマ ああ。

ヒロシ レッスン？ 愛のレッスン、

ゴトウ A B C、

ヒロシ 『青い体験』。

マリコ (ヒロシたちに) バカ。

演技のレッスンだよ。(カキコに) 女優だもんね。

カキコ いや、そんな。まだ研究生です、劇団の。

ホンマ 女優の卵、

カキコ (照れる)

ゴトウ 女優になる夢見ちゃってさ、

ヒロシ 始末におえないロマンチストでやんの。

カキコ ヒロシさん(やめて)、

ホンマ いいなあ、若くて夢があって、

カキコ ホンマさんだってまだ若いじゃない。

ホンマ  
ヤマシロ  
いや、三十過ぎたら夢なんかないよ。ねえ、ヤマちゃん。  
まあな。

マリコ  
え、みんな三十過ぎ？

ヒロシ  
(挙手)俺まだ二十代。

マリコ  
ごっちゃんは？

ゴトウ  
三十なった。

マリコ  
わ。もう終わりじゃん。

ゴトウ  
なにイ。お前アレだろ、三十男と付き合ってたんだろ？

マリコ  
別れたわよ、とつくに。

ゴトウ  
ホントかよ。

カキコ  
え、そうなの？

マリコ  
うん。言ってなかった？

カキコ  
うん。

マリコ  
ダメ、あんな風来坊、

カキコ  
ああ…

マリコ  
全共闘世代なんて流行んない、今ドキ。

カキコ  
えー、でも、

マリコ  
いいのよ、今この話。

ホンマ  
うん。その話どうでもいい。

マリコ  
あ？

ホンマ  
カキちゃん、応援するからがんばって。今さ、ロクな役者いないって言うから。

カキコ  
え？

ホンマ  
黒澤明が言ってたよ。

カキコ  
ああ、

ヒロシ  
黒澤の言うことなんて古いっしょ。知ってる？ ショーケンがなんか、今度出る映

画の撮影でさ、

ゴトウ  
(その話)知ってる。友情出演の？

ヒロシ  
そう。

ホンマ  
え、なに？

ヒロシ  
酔っ払って主人公にからむ役なんだけど、撮影前にホントに飲んでペロペロになっ

て、

ゴトウ  
セットの前で立っションしてから、撮影に臨んだって。

ヒロシ  
役作り(さすが)。

ゴトウ  
(カキコに)役者って、そういうことだね。

カキコ  
(首を傾げ)どうかしら…

ホンマ  
ヤマちゃん、いつもの曲(お願い)。

ヤマシロ  
おう、ジュリーね。

ヤマシロ、奥へ去る。

カキコ  
(オサムに気付き)いらっしやいませ。

オサム  
あ(会釈)、カラオケ、レーザーディスクですか？

カキコ ? なんですか、それ。  
オサム いや、なんかいま、ウワサの。

セオが、ルービックキューブをしながら来る。

(セオに気付き) おお? :

(ルービックキューブが上手いので感心) おお :

(セオに) いらっしやいませ。

...

マリコ どうぞ(客席へ)。

セオ : (フーセンガムを噛みながら、店内を見回す)

カキコ お飲み物は?

マリコ (セオに、ウイスキーボンボンを差し出す) どうぞ。

セオ いや、ノー・サンキューで。

セオ、去る。

マリ・カキ ?

沢田研二『立ちどまるな ふりむくな』(カラオケ) が流れる。

ホンマ 立ちどまるな ふりむくな あなた

ちぎれた糸をたぐってはいけない

誰かがブルース 口ずさむ道を

コートのをりを立て 走って行けよ

クボが来る。

クボ (ホンマに) 千円ちょうだいっ。

ホンマ !

ヒロ・ゴト (出た : )

マリコ : (奥へ行き、ヤマシロを呼ぶ) 店長、

クボ (店内を見回し、オサムに) 千円ちょうだい。

オサム ええ?

クボ 千円ちょうだいっ。(オサムに迫る)

オサム、客席へ逃げ去る。

クボ (ヒロシたちに迫る)

ヒロシ 持ってないよ。

ゴトウ 持ってません。

クボ うそ、

ヒロシ うそじゃないよ。

クボ お酒たのんで飲んでてさ、持ってない訳ないじゃない。

ゴトウ 呑み代以外、持ってないの。

クボ ほしいじゃあ、百円でええけえ。

ゴトウ え、

クボ 電車賃ぐらいあるじゃろ? 百円でええけえ。

※以降の会話、急にみんな方言風に。

ヤマシロ (奥から出てきて) お姉さん、これ(チョコ)あげるけえ。

クボ ウイスキーボンボンじゃ、  
ヤマシロ ほうよ。好きじゃろ？

クボ (もらい) ありがと。

ヤマシロ この店にはスカンピンしかおらんけえ、よそ行こうや。

クボ 小銭くらいあるじゃろ？ 百円でええけえ。

ヒロシ ええ帽子かぶっとるね。

クボ え？

ゴトウ かぶってみてええかいね？

クボ うん、かぶってみんちゃい。

ヒロシ ほしいじゃあ、ちよいと失礼。(帽子をとり、ゴトウにかぶせる)

ホンマ (ゴトウに) ええね。外でみんなで写真撮ろうや。

クボ なんて？

ホンマ わし、インスタントカメラ持つとるけえ。

クボ 外、暗いじゃろ。

ゴトウ フラッシュ付きじゃけ、アニキのカメラ。

クボ ※広島弁で「すげー」みたいな言葉。

ホンマ フラッシュ付きじゃ、わしのカメラ。

ゴトウ こっち来んさい。(と言いながら、外へとクボを誘導)

クボ 写真撮るん？ 写真撮るん？

四人、去る。

カキコ ……なにが起こったの？

マリコ あの女、初めて(会った)？

カキコ うん。

マリコ 最近見なかったんだけどなあ…(来やがった)

カキコ 誰？

ヤマシロ 「千円ちょうだい女」。

カキコ え？

ヤマシロ いろんな酒場、金をせびって回る女。

カキコ え…

マリコ 下手すると大変、床にへばりついてね、

ヤマシロ うん。金もらうまで絶対動かない。

カキコ ……急にみんなで方言(使い始めたの)は？

マリコ 対応策。

ヤマシロ 出身がたしか、広島の田舎なのかな？

マリコ なんか、方言使ってなだめたら、

ヤマシロ だんだん気分が落ち着くみたい。

カキコ (へえ)…世の中にはいろんな人が(いるもんだ)。

店の奥から、トミオカ(スーツにグラサン姿)が来る。

トミオカ ヤマシロ、

ヤマシロ (！) ああ、どうも(一礼)。あれ？ 裏口から(来たんですか)？

トミオカ ああ。(入口を指し) あっち、バカが騒いでっから。  
ヤマシロ ああ。

トミオカ (アゴで奥を指し) ちょっといいか。  
ヤマシロ ああ、はい。

トミオカ (カキコを見て) ……新人？

カキコ あ…(会釈し) カキコです。

トミオカ え？

カキコ…

トミオカ それ、下の名前？

カキコ…

トミオカ (変な名前)、(カキコの服装を見て) ……もつとナウい格好しなよ、ネエちゃん。

カキコ…

トミオカ (マリコに) ネエちゃんも。

マリコ…

トミオカ、ヤマシロ、奥へ去る。

マリコ ……(やーね) 夜なのにグラサンかけちゃって、

カキコ え…その筋のかた？

マリコ (うなづく)

カキコ (！)…

マリコ アレよ、今月分取りにきたのよ、

カキコ え？

マリコ ショバ代。

カキコ (！) みかじめ料…？

マリコ そう。

カキコ えー、そうなの？

マリコ この辺の店、みんな取られてるよ。

カキコ えー…

マリコ けどムカつくなあ。あいつの格好だってダサイよね、今ドキ。

カキコ ……私また、変な名前って思われたのかな、

マリコ え？

カキコ ……はやくいい芸名考えなきゃ。

マリコ え、(カキコって) 漢字、果物の「柿」に？

カキコ 子供の「子」。なんで親はこんな名前つけたんだろ。

マリコ ……名前って、大事よね。

カキコ 大事。

マリコ 「ハウスマヌカン」って知ってる？

カキコ ……知らない。

マリコ DCブランド関係よ。

カキコ え、なにそれ？

マリコ そういう名前の仕事があるんだって。かっこいいよね。

カキコ なにすんの？  
マリコ よく知らない。でも、やってみよつかな。  
カキコ え。

マリコ いや、私もなんか、なんでもいいから目指そうかなって、思ったりなんか、しちや  
ったりして。

カキコ なんて？

マリコ …女優目指してがんばってる、誰かさん見てさ。

カキコ (マリコさん…)

マリコ 私たちもボンヤリしてたら、あつという間におばあさんよ。なんかやんなきゃ。ね、  
カキコ。

ハラが、聞き耳を立てながら来る。

…で、さっきのそれ、やってみるの？

マリコ ハウスマヌカン。

カキコ なにすんの？

マリコ よく知らない。

カキコ まずそこ調べなきゃ。

ハラ 「柿くえば 鐘が鳴るなり 法隆寺」

カキコ (ハラに気付き)！…

ハラ お久しぶりね、柿子。

カキコ …お母さん…

マリコ ええ？

ハラ 疑問に答えましょう。

カキコ え？

ハラ 名前の由来。

カキコ え…

ハラ 誕生日はいつ？ あなた。

カキコ ……

ハラ 誕生日っ、

カキコ 10月26…

ハラ 「柿くえば」(マリコに) この俳句を詠んだのは誰？

マリコ え(私?)、誰だっけ…

ハラ (ため息)今の若い人はなんにも知らない。10月26日は、正岡子規が、この名  
句を詠んだ日なの。

マリコ あ、それにちなんで(柿子)？

ハラ そう。

カキコ あー(由来)そう言えば、そうだった…(マリコに)俳句が趣味なの。

ハラ 趣味なんかじゃないっ。俳句という伝統文芸、私にとつてそれ以上。

カキコ お母さん、

ハラ 五・七・五、十七音に詠みこまれた、季節感と人生観。今の人には分からないわね。  
カキコ ちよっと、

ハラ 新幹線が走り出した頃から、時の流れも猛スピード。言葉もすぐに無駄遣い。いいですか？ 速ければ速いほど、人の心は縮み上がるの。

カキコ その話、もういい。なにしに来たの？

ハラ あなたこそ、ここでなにしているのっ？ (マリコに) このコ、家出同然でうち飛び出して、連絡も全くよこさない。

カキコ ……なんでここが分かったの？

ハラ 探偵雇って調べたのよ。

カキコ (!)

ハラ 探偵さんからの電話報告、「娘さん、はきだめみたいなカラオケパブで、水商売やっていますぜ」

カキコ 失礼ね…

ハラ 「金がないのか、買もんする時、よくバーゲンに並んでますぜ」

カキコ いいでしょ、別に。いま下積みでアレ(貧乏)なんだから。

ハラ 情けない…

カキコ それより探偵って、どういうこと？ ほっといてよっ。

ハラ バカ!

ハラ、カキコにビンタ。

カキコ ! 顔ぶたないで。…私、女優なんだからっ。

ハラ ……お母さんはバーゲンが大嫌い…ちよつとくらい安いからって、みんなバカヅラさげて並んでさ、いつから日本人は、そんな下品になったの。

マリコ お母さま(落ち着きましょ)、

ハラ バカ!

ハラ、マリコにもビンタ。

マリコ ! ……なんで?

奥から、ヤマシロとトミオカが来る。

(カキコに) ネエちゃんよ、あいつら、ちよつと呼んできて。

カキコ え?

トミオカ バカ三人。

カキコ ああ、

トミオカ あ、いや、ヒロシだけでいいや。ヒロシ呼んでこい。

カキコ ああ、はい…

ハラ (トミオカに) あなたっ。

トミオカ ……は?

ハラ ポケットに手をつつこんだまま喋らないっ。無礼者っ。

カキコ・マリ !

トミオカ ……

カキコ お母さんっ、

マリコ (トミオカに) 呼んできます。お母さま(ダメよっ)、

カキコ すみませんっ、

カキコとマリコ、ハラを連れて逃げ去る。

トミオカ あ？ … (ヤマシロに) お母さん？  
ヤマシロ ? いや、さあ…

トミオカ 相変わらず変な客多いな、この店。  
ヤマシロ なにか飲まれますか？

トミオカ え、いや。信用できねえから。  
ヤマシロ え？

トミオカ どうせアレだろ？ (ニヤニヤと) オールドの空き瓶に、トリスのキングサイズ入  
ヤマシロ れたりしてんだろ？  
してませんよ。

トミオカ ウソつけ、お前。気付く客なんかいねえと思って(入れてんだろ)。変なの集まる吹  
ヤマシロ きだまりだな、この店は。汚い街の隅っこに置かれた、ゴキブリホイホイだ。

…

ヤマシロ 言い過ぎか？

…

トミオカ 言い過ぎかどうか聞いてんだろ。

ヤマシロ …いえ…

ヒロシが来る。

ヒロシ (一礼)

トミオカ おう、ヒロシ、

ゴトウが来る。

ゴトウ (一礼)

トミオカ お前も来たのか。

ヒロシ (トミオカに) なにか(ご用ですか)？

トミオカ まあ、座れ。

ゴトウ (カウンターに行き、ヤマシロに) あの女いま、ホンマさんが駅まで送ってます。

ヤマシロ ああ。

トミオカ (ヒロシに) お前いま、仕事何やってんだ？

ヒロシ まあ、ゴトウさんから紹介してもらって、いろいろと…

トミオカ 具体的に言え、この野郎。

ヒロシ …電話ボックスにピンクチラシ貼ったり、テレクラのティッシュ配ったり、

トミオカ いいのか？ いつまでもそんなことやってて、

ヒロシ …

トミオカ ゴトウのアニキの顔、見てみる。

ヒロシ ? … (見る)

トミオカ 顔に書いてるだろ、「ぼくはバカです」って。

ヒロシ …

ゴトウ … (ひどい)

トミオカ 書いてるだろ。

ヒロシ …書いてます…

トミオカ いいのか？ お前もそんな顔になって。

ヒロシ ……ヤです…

トミオカ お前の顔には、「出世したい」って書いてあるぞ。俺には分かる。どうだヒロシ、俺の仕事手伝わねえか？

ヒロシ え？

トミオカ そんでお前がシャキッとやれるんなら、俺がクチきいてやる。ゆくゆくは、盃もらつて組に入れ。

ヒロシ ……

トミオカ なんとか言えよ。

ヒロシ いや、急な話で…

ゴトウ ……トミオカさん、こいつ、そういうタイプじゃないですかね、あ？

ゴトウ (ヒロシに) やめとけ、ヒロシ。お前その世界行つたつて、一生ケツの方でフラフラして、拳句の果ては生活保護だ。

ヒロシ ……んなことねえよ。

ゴトウ え？

トミオカ (ゴトウに) 黙ってる。手前と喋ってねえんだよ。

ゴトウ ……

ヒロシ (トミオカに) 考えさせてもらつて…

トミオカ おう。考えとけ。

ヒロシ はい。

トミオカ、ポケットから小さな包みを出して、テーブルに置く。

トミオカ 最近仕入れたんだ。少ないけど、けっこうな値段したよ。

ヒロシ ……

ゴトウ ……シャブ…？

カキコ カキコが戻ってくる。

カキコ すいません、店長。急に母がやって来て、なんか説教されちゃって。それでいま、マリコさんが母をなだめています。親子で直接話すより、他人が間に入った方が、冷静になれるつてありますよね。マリコさんに感謝♡ ……(みんな無反応なので) あれ？

ヤマシロ (トミオカに) 麻薬、扱ってもいいんですか…？

トミオカ あ？

ヤマシロ 組の方針と、違つてませんか…？

トミオカ ……「毎月、組に金入れろ」、でも「シャブは禁止」。言つてること矛盾してるよ。上層部は、今のシノギが分かつてない。ヒロシ、それ(シャブ)しばらくどっかに隠しといてくれ。最近サツもうるさいし、俺はヤサが知れてるから。

ヒロシ ……

ヤマシロ (ヒロシに) やめとけ、ヒロシ。

トミオカ (ヤマシロに) 外野は黙ってる。

ヤマシロ 黙りません。ここは俺の店なんで。

トミオカ ……あ？

ヤマシロ 俺の…ゴキブリホイホイなんで。だからトミオカさんは…このエサに寄って来た、一番でかいゴキブリだ。

トミオカ ……

ゴトウ トミオカさんも組織の末端ですよね？ 正確には、ゴキブリじゃない。…ゴキブリのヒゲだ。

トミオカ ……  
ゴト・ヤマ ……

ヒロシ 俺、これ(シャブ)預かりますっ。責任持って隠します。(シャブを持ち、ゴトウになに言ってるんだ、バカ！ (ヤマシロに) バカ！ (トミオカに) 俺にめんじて許してください。(頭を下げ、二人に) 謝れ！

ゴト・ヤマ ……  
ヒロシ 謝れ！

ゴト・ヤマ …… (頭を下げる)

トミオカ ……友情ごっこか？ そんなんじゃ出世できねえぞ。

フラフープを肩にかけた、ミュキが来る。

ミュキ (芳村真理で) どーもー。

全員 ……

？

カキコ ……あ、いらっしやいませ。

ミュキ (お店) やってるよね、

カキコ はい。

ヤマシロ あ、どうぞ(客席へ)。

ミュキ はじめまして。フラフーパー・ミュキです。

全員 ……

ミュキ フラフーパー・ミュキです。

カキコ ……あ、へえ。

ミュキ (カキコに) ドリンク(頼んで) いいかしら。ウイスキー・コーク。

カキコ ウイスキー・コーク、

ミュキ そう。矢沢命だから。

カキコ 矢沢永吉？…

ミュキ そう。(ヤマシロに) カラオケもいいかしら。『ウイスキー・コーク』

ヤマシロ ……ああ、永ちゃんの曲？

ミュキ そう。

ヤマシロ、奥へ去る。

カキコ ……フラフープの、プロなんですか？

ミュキ ー、食べていけないから、他にも仕事やっています、夢探偵。

カキコ え…探偵？

ミュキ 夢探偵。

カキコ ……夢探偵？

ミュキ そう。(入口の方を見て) あ、ルービツちゃん、

セオが、ルービックキューブをしながら来る。

(技を披露)

日の丸。

セオ  
ミユキ

…(トミオカに)「気をつけるよ、刺すような毒気がなけりゃ、男稼業もおしまいさ」

トミオカ

…?

映画の台詞ね、『蘇える金狼』。彼女はね、松田優作命なの。(セオに)お仕事何やってんだっけ?

セオ

ヒットウーマン。

ミユキ

かっこいい。

カキコ

ヒットウーマン…?

ミユキ

(トミオカに) そのグラサン・ダンディさん、お仕事は?

全員

…

トミオカ

…お前らアレか、(クルクルパーのジェスチャーをし)コレだな。(俺に)話しかけるな。

矢沢永吉『ウイスキー・コーク』(カラオケ)が流れる。

ミユキ

(ゴトウに)キミ、(フラフープ)持ってる。

ゴトウ

え、(渡される)

ミユキ

オレ達の出逢いを 見つめていたのは

甘くにかい ウイスキー・コーク

酔った振りしながら キッスのチャンス

さがしたのは 本気だったからさ

セオ、上着を脱いで半袖姿に。

腕にタトゥー。ズボンのウエストに、拳銃が差し込んである。

カキコ

(銃に気付き)!!!

セオ

(トミオカに銃を向ける)

トミオカ

!!!

(マイクで話す)組長からの伝言よ。「シャブは御法度」

真っ赤な照明。

セオ、トミオカを撃つ。

暗転。

舞台上および客電が点く。

カキコ、ミュキ、ゴトウ、セオがいる。

クボ、ハラ、(客席から)オサム、来る。

看板は再び、「GH しとや家」。

いやあ、衝撃的、

刺激的、

シヨッキング、

でもエキサイティング、

強烈、

壮絶、

激烈、

モーレッツ、

なかなかすごい思い出ですね、

目の前で、

発砲事件。

シヤブで揉めたってことっすね？

昭和だなあ。

モーレッツ。

待って。？…あなたたち、なんですか？

僕たちですか？ セーの、

(にこやかに) 夢探偵です。

…待って。？…どういう状況？

いま、カキさんの、夢の中です。

夢の中？

はい。ほっぺをつねってみてください、痛くないから。

…(つねる)…痛いですけど。

ええ？

じゃあアレよ。もう目が覚めかけてんよ。

あ、なるほど。

そろそろ(お目覚め)ですかね、

(カキコに) 戻りましょうか、現実に。

…あれ？…(ミュキに) 所長さん…？

(うなづく)

(他の四人を見て) ああ、(スタッフの) みなさん…

(うなづく)

(オサムを見て) 誰？

私は現実世界にはいないんです。カキさんの、潜在意識の奥の方に、存在しております。

ます。

？

カキコ

オサム

カキコ

四人

カキコ

ミュキ

カキコ

クボ

ゴトウ

オサム

ミュキ

オサム

カキコ

オサム

カキコ

オサム

カキコ

六人

オサム

カキコ

ハラ

セオ

クボ

ゴトウ

ミュキ

オサム

ハラ

セオ

クボ

ゴトウ

ミュキ

オサム

ミュキ

オサム

オサム つまり、あなたの無意識が、私を産んだのです。

？

オサム (あなたは) 僕のママ。

カキコ ヤだ、気持ち悪い…

ミュキ まあ、深く考えないで、

オサム いや、説明しましょう。(滑舌の練習) あいうえお、いうえおあ。…僕は夢探偵。あなたの夢の中にあらわれ、夢にいざない、あなた自身を癒す者です。

…

カキコ (練習) かきくけこ、きくけこか。…私らも、現実の私らじゃなくて、架空の存在です。カキさんの夢の中に、ちがう役柄で登場しました。

ハラ ー(考え込む) …

カキコ (練習) さしすせそ、しすせそさ。そんなにさ、考えないで。感じて。

ミュキ …つまり…全部夢…

オサム そう。若い頃に、タイムスリップしてました。

カキコ (オサムに) 夢探偵…?

オサム あなたを癒す者。

カキコ …癒されてはない、

オサム ええ?

カキコ …ああ、(現実に) 戻ってきた…そっか…(ミュキに) 私、施設にいるんだ、

ミュキ (うなづく)

カキコ …(ゴトウたちに) 物忘れがひどくて、困るでしょ?

ゴトウ いろいろ、

クボ 大丈夫。

ミュキ そろそろ(目覚めの)時間ね。私たちは、もう消えます。(ゴトウたちに) カキさん

ゴトウ に、いい感じの言葉を一言かけて、カッコよく消えましょう。

クボ …カキさん、物忘れをしてもいいんですよ。

ゴトウ そ。(すこし浅野温子風に) ンフ。私らが、代わりに覚えておくから、大丈夫♡

カキコ …(うーん) …

ミュキ ン? (今の言葉) 刺さってないみたい。

ゴトウ (クボに) 言い方がさ、

クボ は?

ゴトウ ふざけてんのか?

クボ ふざけてないよっ。

ホンマ ホンマが顔を出す。

オサム (カキタに) おはよ。

オサム ! 現実が始まったっ。

ミュキ 解散!

ホンマ 六人、逃げ去る。

カキコ おはよ。(フラフラップを手にする)

カキコ …

ホンマ ? 寝ぼけてる?

カキコ (首を振り) おはよう…

ホンマ 運動しない?

カキコ いまから?

ホンマ うん。

カキコ いい。

ホンマ なんて?

カキコ 朝っぱらから、そんな、

ヤマシロが、パントマイムをしながら、登場。

ホンマ おお? ええ?

ヤマシロ え?

ホンマ マント…パイク、やってたの?

ヤマシロ うん。

ホンマ 初耳。

ヤマシロ いや、言ったことあるけど、

ホンマ え。あ、そうだっけ?

ヤマシロ うん。

ホンマ …忘れてんな…(俺)物忘れがひどい…(カキコに)どうしたらいい?

カキコ …(ヤマシロに)どうしたらいい?

ヤマシロ …それでいいんじゃない?

ホンマ は?

ヤマシロ 人はみんな同じように、年を取っていつか死ぬ。たとえばそういう、死の恐怖って、

みんなあるよな?

ホンマ …朝っぱらから、重い。

ヤマシロ 聞け。物忘れがひどい奴には、特権がある。

ホンマ …え?

ヤマシロ 死ぬってことも、忘れちゃえ。

ホンマ …ああ?…おお? (気が楽になったかも?)、

カキコ …ヤマさん(いいこと言うじゃない)♡、…マントパイク、若い頃やってたの?

ヤマシロ うん。

カキコ …ゆうべなんか、夢見ちゃって…女優目指してがんばってた、若い頃の。

ヤマシロ うん。

カキコ …若い頃は、まだ先があるって思えたから、楽しかった。いまはもう違うでしょ?

ヤマシロ …先がない、

カキコ そう。どうしたらいい?

ヤマシロ …(ホンマに)どうしたらいい?

ホンマ …それでいいんじゃない?

カキコ は?

ホンマ 若い頃は先があるから、先ばっかり見て、いまを見ない。俺たちは先がないから、

いまをちゃんと見てるんだ。

ヤマシロ ああ…  
ホンマ いまをちゃんと生きてるのは、俺たちの方だ。  
ヤマシロ ……  
カキコ …ごめん、もう一回言っ  
ホンマ え？  
カキコ ちよっと分かんなかった。  
ホンマ は？  
カキコ いや、たぶんいいこと言ってると思う。もう一回、  
ホンマ だから、一日一日を大事に生きようってこと、  
カキコ ? 言ってること変わってない？  
ホンマ 変わってないよ。  
ヤマシロ ちよっととき、それ（フラフープ）やんない？  
ホン・カキ え？  
ヤマシロ その辺（その話題）また、あとで話そう。気分転換。  
ホンマ …ああ。やろう。  
カキコ 競争のやつ？  
ヤマシロ そう。「フラフープくぐり競争」

原田知世『時をかける少女』が流れる。

三人、「フラフープくぐり競争」の練習をしながら、去る。  
暗転。